

各 位

会 社 名 アクモス株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 飯島秀幸  
(コード番号 6888 JASDAQスタンダード )  
問 合 せ 先 執行役員 経営企画室長 中川智章  
(TEL 03-5217-3121)

## 連結子会社の事業停止、連結除外及び特別利益、特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 28 年2月2日開催の取締役会において、下記の通り当社の連結子会社である株式会社エクスカル(以下、「エクスカル」という)の事業の全てを停止すること及び平成 27 年 12 月 31 日をもって、エクスカルを当社の連結範囲から除外することを決議いたしましたので、お知らせいたします。また、特別利益及び特別損失を計上いたしましたので、併せてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 事業停止及び連結除外の理由

当社は、平成 17 年3月にエクスカルを子会社化し、規格認証サービス及び第三者検証等 IT 製品の検証、テストイング事業を営んでまいりましたが、平成 22 年6月期以降業績低迷が続いており、平成 25 年6月期に完全子会社化を図り収益の安定化を進めてまいりました。当第2四半期連結累計期間において、平成 27 年 11 月 30 日付の「子会社の一部事業に係る事業譲渡に関するお知らせ」及び平成 27 年 12 月 18 日の「子会社の一部事業に係る事業譲渡に関するお知らせ(開示の経過)」で発表いたしました通り、平成 27 年 12 月 30 日付で、グラナイトリバーラボ・ジャパン株式会社へのエクスカルの一部事業(ユニバーサルシリアルバスに関する事業及び計測サービスに関する事業)の譲渡を実施しております。

当社は、上記の事業譲渡実施を踏まえ、エクスカル事業の将来性、今後の連結業績に与える影響を慎重に検討した結果、事業の継続が困難であると判断し、現在受注している業務が完了した段階で、平成 28 年3月末日を目途にエクスカルの全ての事業を停止することにいたしました。

また、上記の事業譲渡後の連結上の重要性が低下したことを踏まえ、エクスカルを当第2四半期連結累計期間末である平成 27 年 12 月 31 日をもって連結の範囲から除外することを決定いたしました。

#### 2. 事業活動を停止する子会社の概要

(1) 名 称	株式会社エクスカル	
(2) 所 在 地	横浜市港北区新横浜二丁目6番地3	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 小島 玲 代表取締役 石川 稔	
(4) 事 業 内 容	ハードウェア・ソフトウェア等の検証試験および標準規格に基づく認証試験に関する事業等	
(5) 資 本 金	26 百万円	
(6) 設 立 年 月 日	平成 10 年 3 月 30 日	
(7) 大株主及び持株比率	アクモス株式会社 100%	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	当社が発行済み株式の 100%を保有しております。
	人 的 関 係	取締役2名、監査役1名を、当社の役職員が兼務しております。
	取 引 関 係	経営指導料月額 20 万円を当社に支払っております。

(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態							
決算期		平成 25 年 6 月期※	平成 26 年 6 月期	平成 27 年 6 月期			
純	資	産	132 百万円	124 百万円	86 百万円		
総	資	産	172 百万円	155 百万円	131 百万円		
売	上	高	63 百万円	131 百万円	86 百万円		
営	業	利	益	△11 百万円	△10 百万円	△25 百万円	
経	常	利	益	△11 百万円	△10 百万円	△25 百万円	
当	期	純	利	益	△11 百万円	△ 7 百万円	△37 百万円

※平成25年6月期は、期中に決算日を12月31日から6月30日に変更したため6か月分の経営成績となっております。

### 3. 事業活動の停止の日程

エクスカルの事業活動の停止は、平成 28 年 3 月 31 日を予定しております。事業活動停止後につきましては、エクスカルの本店事務所の撤退等事業整理業務を行った後、清算手続きに移行する予定です。

### 4. 特別利益、特別損失の計上について

当社は、当第2四半期連結累計期間において、特別利益として 20 百万円、特別損失として 19 百万円を計上しております。特別利益の内訳としては、エクスカルの一部事業の譲渡に伴う事業譲渡益 15 百万円、その他特別利益の合計5百万円となっております。特別損失の内訳としては、エクスカルの事業停止に伴い見込まれる事業整理損9百万円、エクスカルの一部事業の譲渡に伴い提携会社との契約解除を実施したことに伴う契約解除損失6百万円、その他特別損失の合計4百万円となっております。

### 5. 今後の見通し

当社は、過年度においてエクスカル株式会社について減損処理を実施しており、当第2四半期連結累計期間において新たな減損処理は実施しておりません。また、上記の特別利益、特別損失の計上及びエクスカルの連結範囲からの除外が平成 28 年6月期の連結業績及び当社個別の業績に与える影響は軽微であります。

今後の業績に与える影響が判明した場合には、速やかにお知らせいたします。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

以 上